

これからの 大学入試

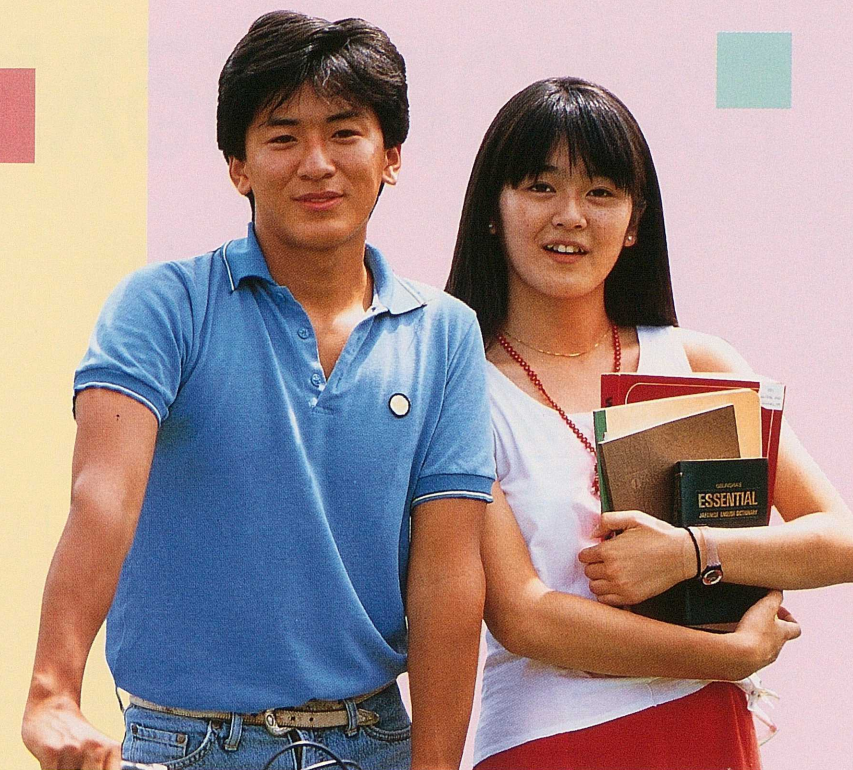
大学入試センター試験を活用して





入試に個性と特色を。

各大学それぞれに特色ある入試の実現を。大学入試センターは、その期待に応えます。



大学入試改善の方向。

大学入学者の選抜は、①大学教育を受けるにふさわしい能力・適性などの多面的な判定、②公正かつ妥当な方法、③入試のために高等学校の教育を乱すことがないような配慮、が基本的に重要だとされています。また、高校生段階にある受験生の幅広い人間形成にも十分留意して、それぞれの個性や能力、適性を大切にしたい画一的でない大学入試が、今まさに求められています。

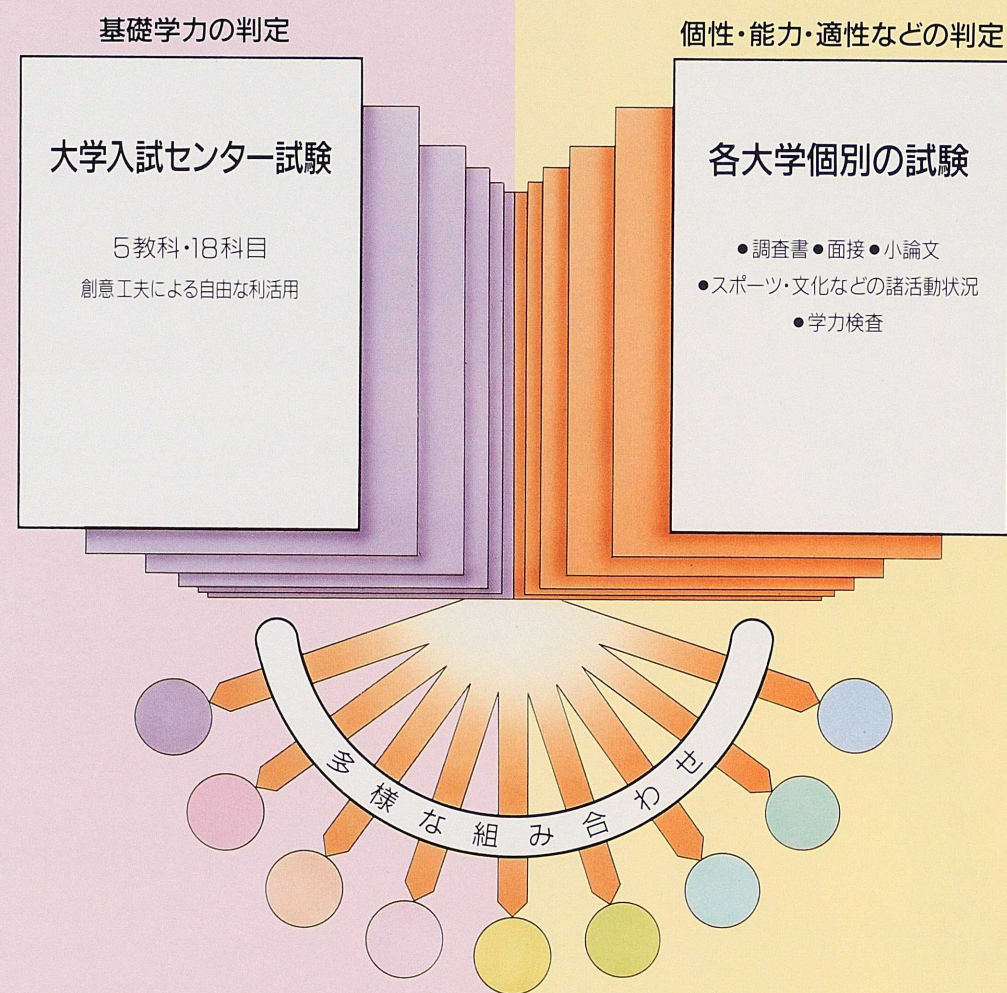
大学入試センター試験を活用して。

これまでも入試制度そのものや各大学の入試方法について、さまざまな改革・改善が積み重ねられてきました。平成2年度からスタートした「大学入試センター試験」は、これらの実績の上に立って実施されている入試制度です。この試験は、各大学の創意工夫により、さまざまな形で活用することができるものです。この試験を活用した積極的な入試の改善が期待されています。

国公立大学の枠を超えて。

各大学の入学者の選抜は、それぞれの学風、建学の精神に沿って、より个性的で特色のあるものとして実施されることが重要です。大学入試センター試験はこのような期待に応えます。この試験の趣旨や内容、実施結果などを、より多くの関係者の方に理解いただき、利用大学の輪が大きく広がっていくことが望まれます。大学入試の改善は、国公立すべての大学において着実に進められていくことが、何よりも大切と考えます。

各大学の特色ある入試をお手伝い。



各大学における特色ある入学者の選抜

大学入試センター試験は、
利用大学ごとの自由な活用が基本。

大学入学者の選抜の具体的なあり方は、各大学それぞれの自主的な検討に待つべきもの。大学入試センター試験は、このことを前提とし、各大学が独自の判断と創意工夫により自由に活用できるように考えられた試験です。受験生ひとりひとりの能力や適性などが多面的に判定できるよう、この試験の成績を役立てていただくのが目的です。

教科・科目の利用の仕方は
各大学の考え方次第。

大学入試センター試験の5教科18科目のうち、特定教科・科目のみの利用も、もちろん可能です。
また、調査書や面接、小論文、実技試験などと適切に組み合わせることで、各大学のカラーを鮮明に打ち出し、いわゆる輪切りや序列化に歯止めをかけることも期待されています。

(平成5年度の出題教科・科目)

- 国公立、すべての大学が利用できる学力試験です。
- 高等学校教育にそって、良質な試験問題を用意します。
- 出題科目は、各大学が利用しやすいよう工夫されています。
- 受験者は大学があらかじめ指定した教科・科目を受験することとなります。

期 日	教科・科目	時間・配点	出題方法など	科目選択の方法など
平成5年 1月16日 (土)	外国語 「英語I・II」 「ドイツ語」 「フランス語」	10:00～ 11:20 (200点)		左の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「英語」のほか「ドイツ語」又は「フランス語」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
	数学(A) 「数学I」	12:50～ 13:50 (100点)		
	数学(B) 「数学II」 「工業数理」 「簿記会計I・II」	14:40～ 15:40 (100点)	「数学II」の電子計算機と流れ図は、出題範囲から除く。 「数学II」については、「数学II」を履修した者並びに「代数・幾何」、「基礎解析」及び「確率・統計」のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 「簿記会計II」は、前半の内容①特殊な取引の記帳、②帳簿組織、③株式会社の記帳を出題範囲とする。	左の3科目のうちから1科目を選択し、解答する。 ただし、科目選択に当たり、「数学II」のほか「工業数理」又は「簿記会計I・II」の問題冊子の配付を希望する場合は、大学入試センター試験の出願時に申告する。
	理科(A) 「物理」 「地学」	16:30～ 17:30 (100点)	「物理」、「地学」の出題には、「理科I」に含まれるそれぞれの関連内容を含む。	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
平成5年 1月17日 (日)	理科(B) 「化学」 「理科I」	10:00～ 11:00 (100点)	「化学」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	左の2科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	国語 「国語I・II」*	12:30～ 13:50 (200点)	「国語I」、「国語II」の範囲の近代以降の文章、古典(古文、漢文)を出題する。	
	社会 「倫理・政治・経済」 「日本史」 「世界史」 「地理」 「現代社会」	14:40～ 15:40 (100点)		左の5科目のうちから1科目を選択し、解答する。
	理科(C) 「生物」	16:30～ 17:30 (100点)	「生物」の出題には、「理科I」に含まれる関連内容を含む。	

*大学によっては、「近代以降の文章」のみの指定もあります。

A young woman with dark hair tied back, wearing a white short-sleeved polo shirt with a yellow collar and a white pleated tennis skirt. She is also wearing a yellow headband and a yellow wristband with a logo. She holds a white tennis racket in her right hand and a yellow tennis ball in her left hand, smiling at the camera. The background is a blurred green field with trees.

年度	国立大学	公立大学	私立大学(利用定員)	計
2	95(全大学)	37(全大学)	16大学19学部(約1,700名)	148大学
3	95(全大学)	39(全大学)	21大学24学部(約2,200名)	155大学
4	95(全大学)	39(全大学)	32大学46学部(約3,400名)	166大学
5	95(全大学)	41(全大学)	56大学85学部(約5,100名)	192大学

協議・協力し、スムーズに実施。

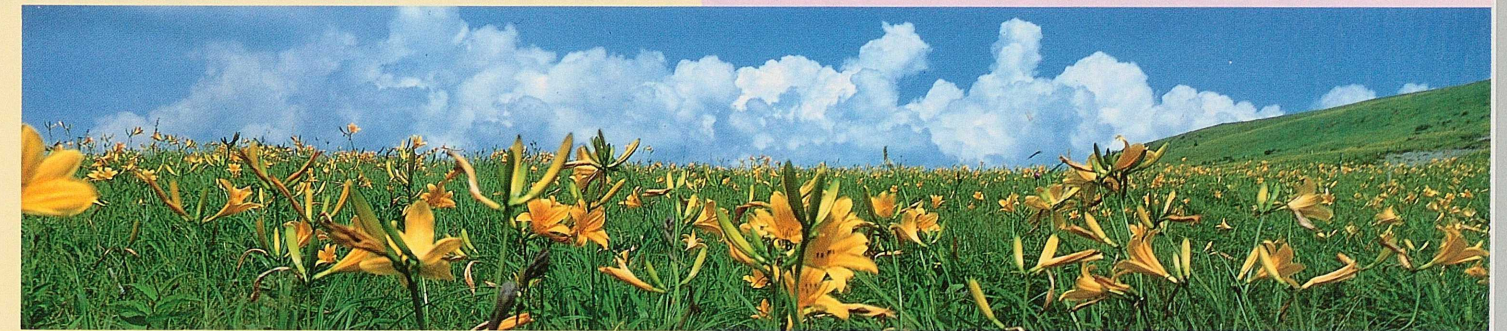
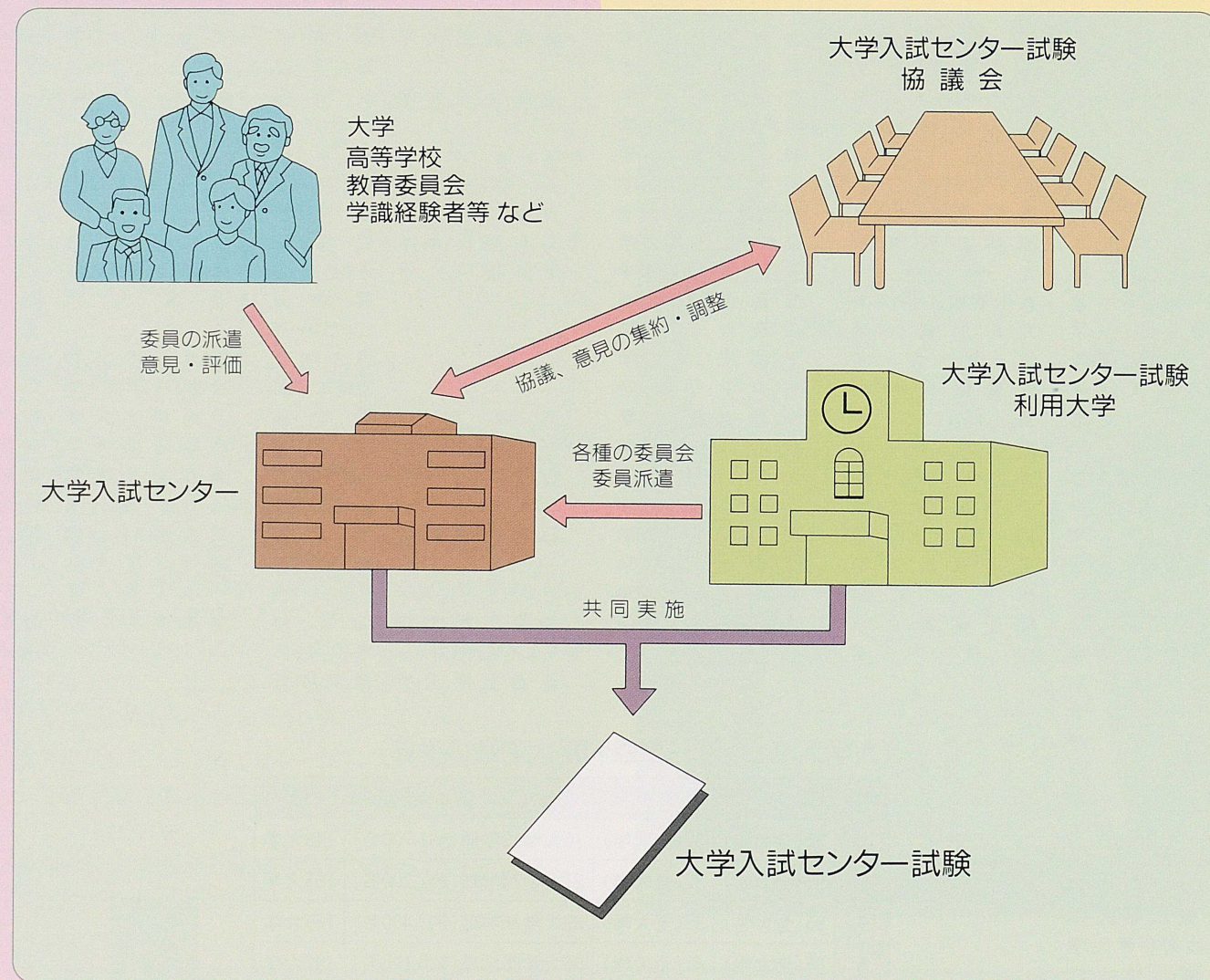
国公立の各大学が共同して試験の実施にあたります。

大学入試センター試験は、この試験を利用する国公立大学が大学入試センターと協力しながら、大学入学者選抜の一部として、共同して実施するものです。また、この試験に関し、国公立大学間でその改善や充実、及び意見の集約・調整などを行う協議組織として「大学入試センター試験協議会」が置かれており、試験実施に関する重要事項については、この協議会で慎重に協議を重ねたうえで決定されます。

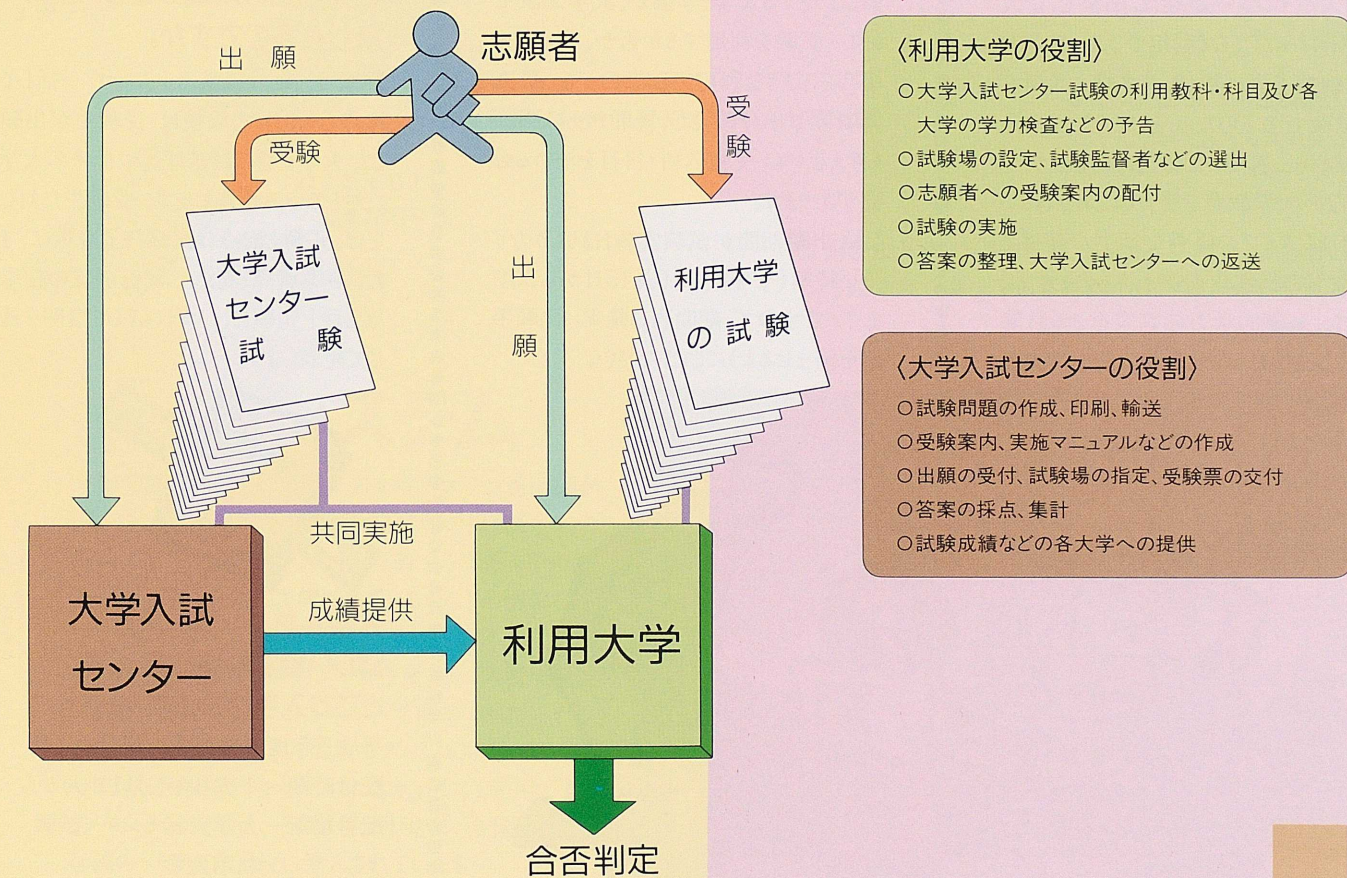
大学入試センターが試験問題の作成、答案の採点などを担当します。

大学入試センターは、主として問題の作成や印刷、答案の採点、集計など、試験の実施にあたり一括して処理することが適当な業務を担当しています。試験問題は、国公立大学の教員によって作成され、その内容については、学識経験者、高等学校関係者からの意見・評価を受けています。なお、大学入試センターの運営に関しては、各種委員会を通して各大学・高等学校関係者などの意見が十分に反映されるようになっています。

■大学入試センター試験の運営



■大学入試センター試験を利用した入試の仕組み



〈利用大学の役割〉

- 大学入試センター試験の利用教科・科目及び各大学の学力検査などの予告
- 試験場の設定、試験監督者などの選出
- 志願者への受験案内の配付
- 試験の実施
- 答案の整理、大学入試センターへの返送

〈大学入試センターの役割〉

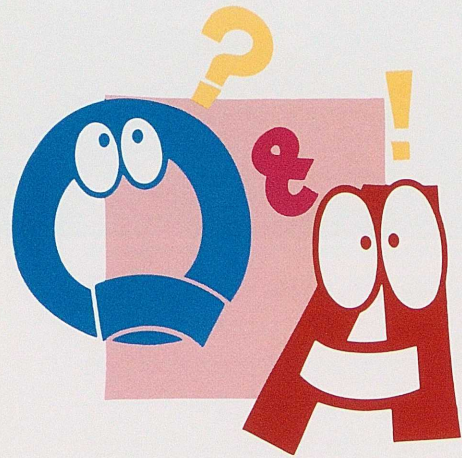
- 試験問題の作成、印刷、輸送
- 受験案内、実施マニュアルなどの作成
- 出願の受付、試験場の指定、受験票の交付
- 答案の採点、集計
- 試験成績などの各大学への提供

◎検定料／3教科以上受験13,000円、2教科以下受験8,500円

◎出願方法／高校卒業見込者は在学高校経由。高校卒業者は直接郵送。

◎試験場／原則として——高校卒業見込者は在学高校が所在する試験地区内の試験場。
高校卒業者は居住する試験地区内の試験場。

お答えします、大学入試センター試験。



大学入試センター試験を利用する大学のメリットは何ですか。

大学入試センター試験は、国公立大学がわけへだてなく利用でき、しかも各大学の創意工夫に基づいて多様に活用できる試験です。そのため、独自の学風や建学の精神に基づいた特色ある選抜が可能になり、大学教育を受けるにふさわしいさまざまなタイプの優秀な学生が確保され、大学の活性化が図れるものと考えます。また、基礎的学力の判定をこの試験によることとすれば、受験生の能力や適性を多面的に判定する独自の試験を実施するゆとりが生まれ、受験生ひとりひとりの個性を重視した、より丁寧な入試を行うことが期待できます。



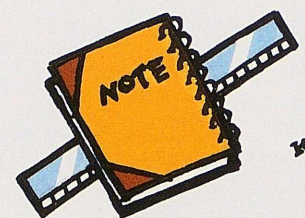
大学入試センター試験の出願に当たって、特に注意すべき点はどんなことですか。

大学入試センター試験は、国公立大学を除いて、すべての私立大学が利用するわけではありません。したがって、自分が志望しようとする大学・学部が、大学入試センター試験を利用するか否か、利用する場合どのような利用方法なのかを、募集要項等で十分確認し、併願校との関係も考えながら、受験教科・科目を決める必要があります。なお、出願期間が試験実施日よりかなり早い時期(今年度は10月15日から26日まで)ですので、期間内に確実に出願手続を済ませるようにしてください。

また、身体に障害を有する志願者は、受験に当たって特別の措置が受けられますので、出願の際に、特別措置の内容等を受験案内(別冊)により、十分確認して、所要の手続きをとる必要があります。

各受験生の成績はどのように扱われるのですか。

答えは、大学入試センターで一括して採点します。その成績は、受験生が出願した大学からの請求に基づき、その大学に対してのみ提供します。受験生に対しては、正解と配点は試験終了直後に、また、平均点・最高点・最低点などの結果は2月上旬頃に、いずれも報道機関を通じて発表します。



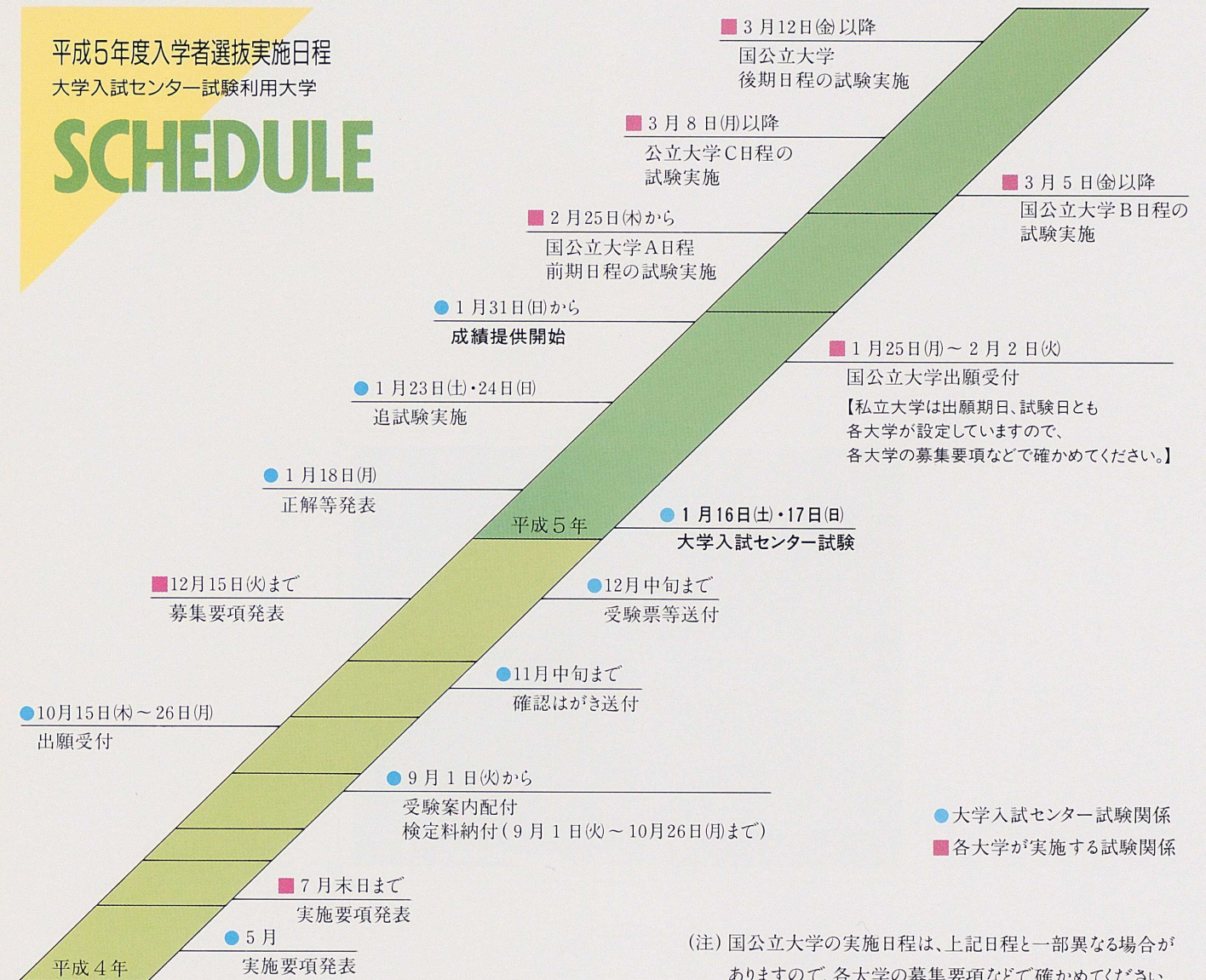
大学入試センター試験の詳しい資料や情報はどこで入手できますか。

平成5年度受験案内の配付
配付時期 平成4年9月1日(火)から
配付場所 大学入試センター試験利用大学

●問い合わせ先
大学入試センター事業第一課
☎ 03-3465-8600
月曜～金曜 9時30分～17時(祝日を除く)

平成5年度入学者選抜実施日程
大学入試センター試験利用大学

SCHEDULE

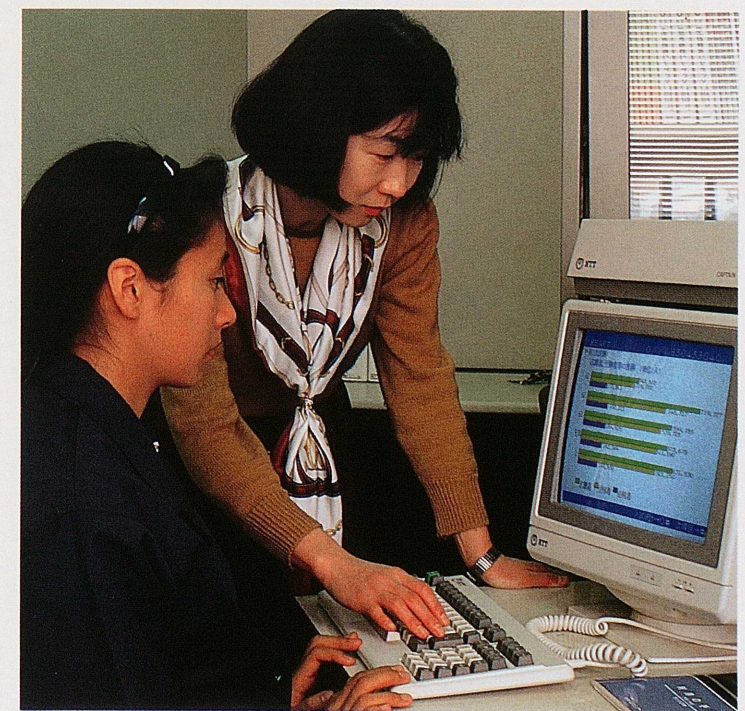


(注) 国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合がありますので、各大学の募集要項などで確かめてください。

ハートシステム

大学入試センターが全国ネットのキャプテン通信網を通じて、大学の進学案内に関する情報の提供を行っているものです。この進学案内は、志望する学部・学科等が全国のどの大学に設置されているかなどの情報を即時に知ることができるシステムです。その内容は、「志望大学の選択」、「大学案内」、「ハート速報」、「入試案内」、「編入学情報」の5つのメニューで構成されています。また、通常のパソコンに「汎用モデム(2400b/s 全二重モデム)」を接続し「キャプテン端末」としても利用できます。ハートシステムは、平成4年3月現在、全国の高등학교のうち約1,000校に導入されています。

「ハートシステム」の内容については
大学入試センター進学情報課
☎ 03-3468-3311(代)
端末機の導入については
NTT画像通信事業本部
☎ 0120-443322 フリーダイヤル





文部省

大学入試センター

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

☎03-3468-3311(代)

1992年(平成4年)6月発行